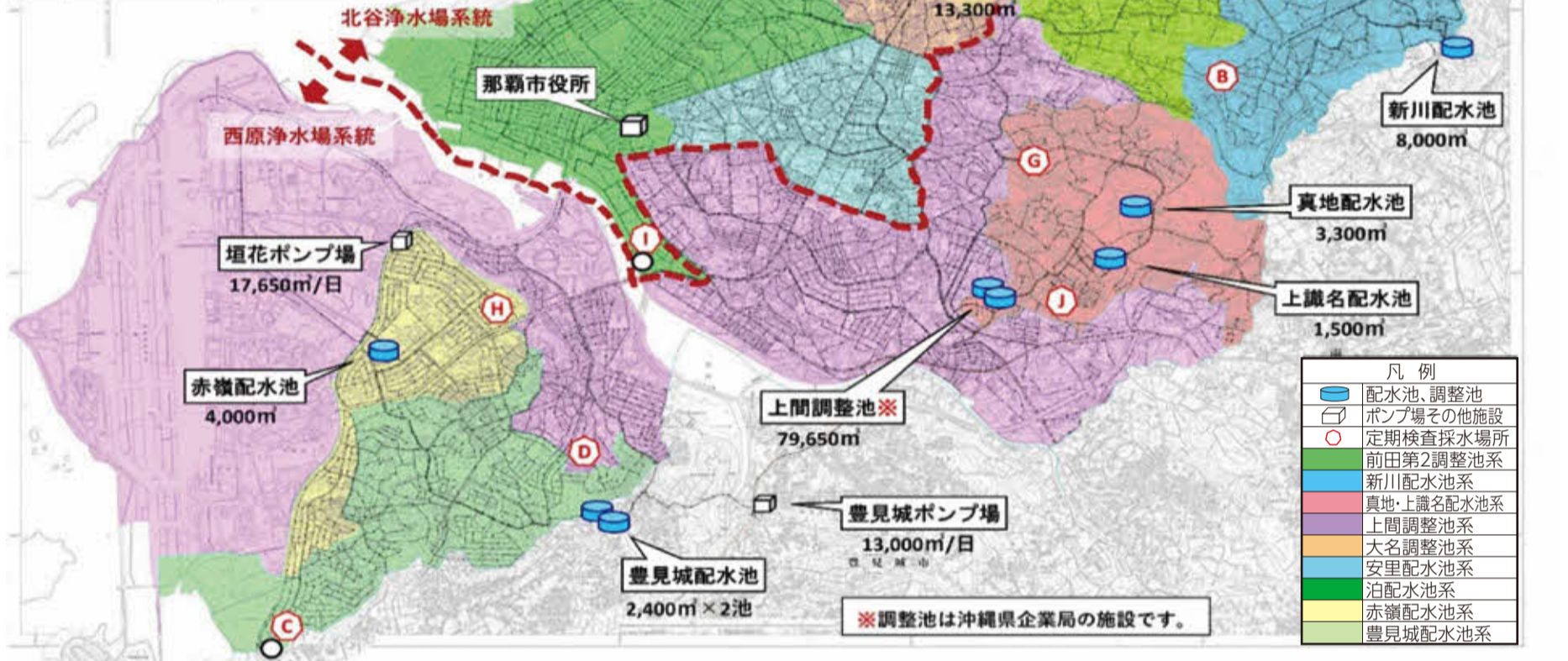




配水系統と水質検査採水地点図

採水地点		
A	末吉公園	前田系
B	首里崎山公園	新川系
C	具志宮城南公園	豊見城系
D	小禄南風公園	上間系
E	安謝東公園	安里系
F	天久ちゅらまち公園	大名系
G	繁多川交番	真地系
H	小禄どんぐり公園	赤嶺系
I	壺川中公園	泊系
J	上間中央公園	上識名系
○	自動水質計(2カ所)	北谷浄水場系・西原浄水場系



～企業局における有機フッ素化合物の検出状況及び水道水の安全性～

那覇市の水道水は、水道用水供給事業者である沖縄県企業局の西原浄水場と北谷浄水場から送水されていますが、北谷浄水場の水源地で有機フッ素化合物(PFOS等:PFOS及びPFOA)が検出され、浄水からも検出されています。(以下、企業局ホームページから一部抜粋)

○PFOS等については、令和2年4月に厚生労働省において、水道水質基準における水質管理目標設定項目としてPFOS及びPFOAの暫定目標値が「50ng/L(PFOSとPFOAの合計値)以下」と設定されたことから現在、企業局では同値を遵守した水質管理及び浄水処理を行っています。

○北谷浄水場浄水のPFOS及びPFOA濃度の合計は、以下の測定結果となっており、PFOS等が安全なレベルに低減されていることを確認しております。

PFOS等の検出状況(浄水平均)			水道水におけるPFOS等規制値の状況	
年度	北谷浄水場	西原浄水場	国名等	規制等
令和3 (~R4.2月)	12ng/L	1ng/L以下	日本	暫定目標値：50ng/L以下(PFOSとPFOAの合計値)
令和2	16ng/L	1ng/L以下	アメリカ	生涯健康勧告値：70ng/L以下(PFOSとPFOAの合計値)
令和元	23ng/L	1ng/L以下	ドイツ	健康関連指針値：300ng/L以下
平成30	29ng/L	1ng/L以下	WHO (世界保健機関)	設定なし

(単位ng/L:1リットル当たりのナノグラム数、1ナノグラムは10億分の1グラム)

※県企業局ホームページへは、上下水道局ホームページからもリンクできます。

また、県企業局では、PFOS等濃度低減化のために下記の対策を実施するとして、測定結果については随時公開しています。

- ①水事情が良好な状況においては、PFOS等濃度の高い中部河川等からの取水量を低く抑え、ダム水を優先的に活用する。
- ②PFOS等の吸着効果が見込める粒状活性炭への定期的な入れ替えを行う。

※那覇市もPFOS等について3ヶ月に1回、独自に検査を行っております。→検査結果のリンク先はこちら



【お問い合わせ】配水課 TEL:941-7806 FAX:941-7826



安全で安心 おいしい那覇市の水道水！

